

## 令和6年10月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

## 1. 清水港

輸出総額は1,748億円（対前年同月比14.6%の減少、比率ベース：2カ月連続の減少）、輸入総額は1,084億円（同2.7%の減少、4カ月ぶりの減少）であった。差引額は664億円（同28.8%の減少）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「プラスチック」、「非鉄金属」などが増加したものの、「自動車の部分品」、「科学光学機器」、「二輪自動車類」などが減少した。

輸入は「魚介類及び同調製品」、「パルプ」などが増加したものの、「液化天然ガス」、「大豆」、「科学光学機器」などが減少した。

地域別では、輸出は「EU」、「アメリカ」、「アジア」が減少した。輸入は「EU」が増加、「アメリカ」、「アジア」は減少した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	1,748億円	▲14.6%	1,084億円	▲2.7%	664億円	▲28.8%
	2カ月連続の減少		4カ月ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) プラスチック	69億円	+29.2%	輸入	増加品目	(1) 魚介類及び同調製品	156億円	+25.4%
		(2) 非鉄金属	38億円	+28.5%			(2) パルプ	45億円	+37.6%
		(3) コーヒー・茶・ココア・香辛料類	17億円	+96.7%			(3) 加熱用・冷却用機器	30億円	+58.9%
	減少品目	(1) 自動車の部分品	128億円	▲43.0%		減少品目	(1) 液化天然ガス	61億円	▲53.7%
		(2) 科学光学機器	98億円	▲46.7%			(2) 大豆	6億円	▲78.8%
		(3) 二輪自動車類	154億円	▲25.2%			(3) 科学光学機器	18億円	▲54.7%
	主要地域 増減	EU、アメリカ、アジアが減少				主要地域 増減	アメリカ、アジアが減少、EUは増加		

（参考）ドルレートは、145.87円（前年同月比2.0%、3.01円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

## 2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	9億円	▲23.2%	29億円	+9.6%	▲19億円	+38.1%
	2カ月ぶりの減少		6カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 金属鉱及びくず	3億円	全増	輸入	増加品目	(1) とうもろこし	8億円	+35.0%		
		(2) 精油・香料及び化粧品類	65百万円	+46.1%			(2) 木材及びコルク	13億円	+14.9%		
		(3) 糖類及び同調製品・はちみつ	19百万円	+20.5%			(3) パルプ	3億円	+89.3%		
	減少品目	(1) 電気計測機器	1億円	▲78.1%		減少品目	(1) 肥料	—	全減		
		(2) 有機化合物	—	全減			(2) 無機化合物	57百万円	▲14.8%		
		(3) ポンプ及び遠心分離機	—	全減			(3) —	—	—		
	主要地域 増減		アジア、EUが減少、アメリカは増加					アメリカが増加、アジア、EUは減少			
	増減										

## 3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額(▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	366億円	▲17.1%	21億円	▲31.5%	346億円	▲16.1%
	2カ月連続の減少		2カ月ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	66億円	+43.0%	輸入	増加品目	(1) 鉄鋼	10億円	2.9倍		
		(2) 二輪自動車類	10億円	+17.7%			(2) 有機化合物	2億円	+74.4%		
		(3) ポンプ及び遠心分離機	3億円	+44.2%			(3) お茶	43百万円	全増		
	減少品目	(1) 自動車	204億円	▲27.9%		減少品目	(1) 医薬品	—	全減		
		(2) 楽器	28億円	▲22.8%			(2) 木材及びコルク	1百万円	▲33.9%		
		(3) 無機化合物	6億円	▲21.5%			(3) —	—	—		
	主要地域 増減		EU、アメリカが減少、アジアは増加					EUが減少、アジア、アメリカは増加			
	増減										

## 4. 静岡空港

輸出入実績なし